

農林水産大臣賞

庭静子（種市ふるさと物産館「はまなす亭」）（岩手県洋野町）

代表作品「ほやづくし（天然ほや飯、ほや吸い物、ほやフライ、ほやキムチ、焼きほや、ほや刺し）」

庭氏は、昭和 50 年代の後半から地元の婦人会や食生活改善推進員として、地域の水産物を利用した料理を研究し、地域食材を活用した料理に関する知見を蓄えてきたほか、商工会会員としても活躍してきた。

平成 10 年、旧種市町役場から「種市ふるさと物産館」の運営を打診され、庭氏が同施設で地域の海産物を利用した加工品開発や調理販売を行なうこととなり、種市特産のウニを中心としたメニューの提供や珍味などの販売からスタートした。

平成 12 年のテレビ取材をきっかけに、一年中水揚げのある種市特産の「天然ほや」を使った様々な料理を考案し、それをもとに食堂メニューの多様化や「天然ほやの薫製」など、特産加工品開発を本格的に開始した。このことにより冬期間の売上が年々拡大し、季節雇用が中心だった従業員を現在では通年で雇用するに至っている。

運営当初から修学旅行生にウニの殻むきなどを体験させ好評だったことから、平成 15 年に県の「いわてグリーン・ツーリズム体験インストラクター」として登録し、本格的に体験ツアーの受け入れを開始した。

平成 20 年には、天然ほやの中の海水を薪で煮詰めた「ほやしお」を開発し、物産館の人気商品として定着している。これらの素材を活かした加工品開発により、事業規模はオリジナル特産品 16 点、来場者 50 千人までになっている。



加工品



「ほやづくし」